

英国の大学交通研究連合について

Universities' Transport Studies Group (U.T.S.G.) は、英国の大学や高等教育機関での交通問題に関する教育・研究を推進し、その中心としての役割を果たすべく1967年にロンドン大学の元教授 Smeed により創設された組織である。そのメンバーとなっている機関（現在51、学科数にして130）は、いずれも交通分野での活発な postgraduate research が推進されているところである。現在、Chairman はリーズ大学交通研究所 (Institute for Transport Studies, University of Leeds) の May 教授であり、事務局も、リーズ大学に置かれている。この研究連合には、May 教授をはじめとして、ロンドン大学の Allsop 教授やレディング大学の Hall 教授などわが国でもよく知られた著名な学者も参画している。また、英国国外からも200を越える学術機関が加わっている。わが国に対して、この組織から交通分野における研究協力と情報交換を呼びかけてきており、土木計画学委員会との共通点も多いため、ここにその内容を紹介しておくことにする。

U.T.S.G. の主要な活動内容は、次のとおりである。

1. 年次研究発表会の開催……研究のニーズ、研究の進展の討論や、大学院生に研究発表の機会を与える。
2. 年次研究発表会の論文、学位論文、メンバー各機

関でのワーキングペーパーの目録を載せた出版物の発刊。

3. メンバー各機関の年間活動報告。

4. 交通研究のユーザー側すなわち、実務者といっしょになった分科会活動で、研究のニーズや研究成果の広報などを行う。ユーザー側からはこの分科会に、the County Surveyors' Society, the Bus and Coach Council, British Rail そして the Freight Association が参加している。

5. 特定のテーマについて深く掘り下げた議論をするための分科会による非公式なセミナーやワークショップ開催。

6. その他、U.T.S.G. に特有の諸問題、たとえば終身雇用権 (tenure) のない研究者や、オーバードクター問題などの検討。

U.T.S.G. に関する資料等は、土木計画学委員会幹事長中村英夫教授（東京大学工学部）の所に保管されているので、必要な場合には照会されたい。

問合せ先：〒113 東京都文京区本郷 7-3-1
 東京大学工学部土木工学科
 中村英夫（電話：03-812-2111）

（文責：林 良嗣 / Yoshitsugu HAYASHI / 名古屋大学土木工学科）